

富良野市幸福度調査 分析結果

■アンケートの分析結果

1. 居住継続意向と幸せの感じ方の関係

1 - 1. 居住継続意向と主観的幸福度の関係

居住継続意向の回答ごとに、主観的幸福度の平均値及び幸福度の度数別回答者数を集計した。その結果を表 1 に示す。

幸福度の平均値を見ると、「住み続けたいと思っているが、住み続けるのは難しいと思う」と回答した市民が最も高く、次いで「住み続けたいと思っており、実際に住み続けるつもり」と回答した市民が高い。居住継続意向を持つ回答者の方が、幸福度が高い傾向にあると分かる。

そこで、「住み続けたいと思っているが、住み続けるのは難しいと思う」もしくは「住み続けたいと思っており、実際に住み続けるつもり」と回答した市民を居住継続意向がある市民と、「外に住み替えたいと思っているが、住み替えは難しそう」もしくは「外に住み替えたいと思っており、実際に住み替えを検討している」と回答した市民を居住継続意向がない市民と定義し、居住継続意向の有無によって幸福度の平均値に統計的有意差があるのかを確認するべく t 検定を行った。その結果、両者の幸福度の平均値に

表 1. 居住継続意向と主観的幸福度のクロス集計表

	サンプル数	主観的幸福度							
		平均値	幸福度1	幸福度2	幸福度3	幸福度4	幸福度5	幸福度6	幸福度7
住み続けたいと思っており、実際に住み続けるつもり	369	5.21	2	4	19	86	98	98	62
住み続けたいと思っているが、住み続けるのは難しいと思う	50	5.30	0	0	1	11	16	16	6
外に住み替えたいと思っているが、住み替えは難しそう	63	4.52	0	3	5	27	14	12	2
外に住み替えたいと思っており、住み替えを検討している	32	4.69	2	1	0	14	4	7	4

※表 1 及び図 2 は、居住継続意向及び主観的幸福度の質問ごと有効回答を集計した結果であるのに対し、検定は全質問を通して有効回答であったサンプルを用いている。そのため、表 1 及び図 2 とその他の図表の居住継続意向を持つ回答者の割合及び主観的幸福度の平均値は異なる。

表 2. 居住継続意向を持つ回答者と持たない回答者の主観的幸福度の差の検定結果

	居住継続意向あり	居住継続意向なし
平均	0.149	-0.520
分散	0.896	1.055
観測数	167	48
仮説平均との差異	0	
自由度	72	
t	4.045	
P(T<=t) 片側	0.000	
t 境界値 片側	1.666	
P(T<=t) 両側	0.000	
t 境界値 両側	1.993	

は 1%未満水準で有意な差があると判断された（表 2, 図 1）。なお、平均値の差を検定した結果、有意水準が 10%未満ならば差があると判断する。また、t 検定の実施に当たっては、幸福度の回答を標準化している（以降の分析も同様の処理を行った）。

次に、主観的幸福度の多寡によって居住継続意向が異なる傾向にあるのか確かめるため、主観的幸福度の度数ごとに居住継続意向を持つ回答者の割合を集計した。その結果、幸福度 3 のグループを除くと、概ね、主観的幸福度が高いほど居住継続意向を持つ回答者の割合も高い傾向にあった（図 2）。

この結果を踏まえて、幸福度が比較的高い回答者（幸福度 5 以上）とそうでない回答者（幸福度 4 以下）で居住継続意向を持つ回答者の割合に差があるか否か確認するべく t 検定を行った。その結果、両者の居住継続意向を持つ回答者の割合には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表 3, 図 3）。これらの結果から、居住継続意向を持つ回答者は主観的幸福度が有意に高く、幸福度が高い回答者は居住継続意向が有意に強い傾向にあると分かる。

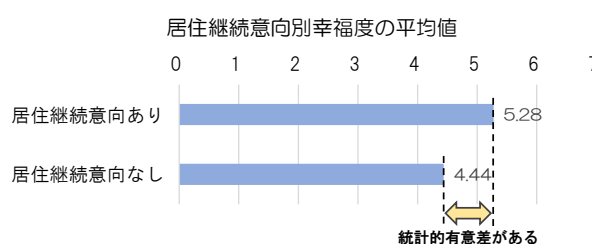


図 1. 居住継続意向別主観的幸福度の平均値

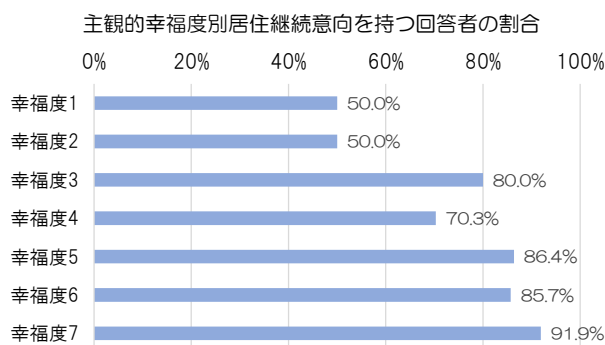


図 2. 主観的幸福度別居住継続意向を持つ回答者の割合

表 3. 主観的幸福度の違いによる居住継続意向を持つ回答者の割合の差の検定結果

	幸福度5以上	幸福度4以下
平均	0.857	0.603
分散	0.123	0.243
観測数	147	68
仮説平均との差異	0	
自由度	100	
t	3.827	
P(T<=t) 片側	0.000	
t 境界値 片側	1.660	
P(T<=t) 両側	0.000	
t 境界値 両側	1.984	

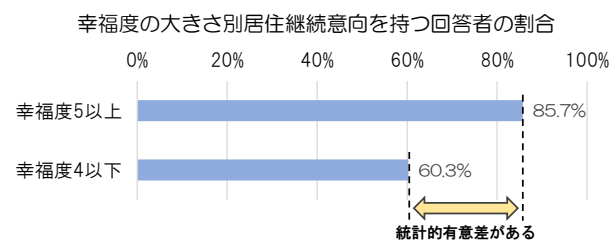


図 3. 主観的幸福度の大きさ（2 区分）別居住継続意向を持つ回答者の割合

1 - 2. 居住継続意向と地域しあわせ風土指標「風の質問」の該当数の関係

地域しあわせ風土指標の風の質問（以降、風の質問と記載する）の該当数が多いほど、多様な幸せの気持ちを持つと推察される。それに伴い、居住継続意向の強さも異なると予想される。そこで、居住継続意向の有無によって風の質問の該当数の平均値に統計的有意差があるのかを確認するべく t 検定を行った。その結果、両者の風の質問の該当数には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表 4, 図 4）。

次に、風の質問の該当数の多寡によって居住継続意向を持つ回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、回答者を風の質問の該当数の Z スコアを基に、「風の質問の該当数の Z スコアが 0.5 以上」のグループと「風の質問の該当数の Z スコアが 0.5 未満」のグループに分けた上で、両者の居住継続意向を持つ回答者の割合について t 検定を行った。その結果、両者の居住継続意向を持つ回答者の割合には、5%未満水準で有意な差があると判断された（表 5, 図 5）。これらの結果から、居住継続意向を持つ回答者は風の質問の該当数が有意に多く、風の質問の該当数が多い回答者は居住継続意向が有意に強い傾向にあると分かる。

表 4. 居住継続意向を持つ回答者と持たない回答者の風の質問該当数の差の検定結果

	居住継続意向あり	居住継続意向なし
平均	0.096	-0.332
分散	0.990	0.932
観測数	167	48
仮説平均との差異	0	
自由度	78	
t	2.689	
P(T<=t) 片側	0.004	
t 境界値 片側	1.665	
P(T<=t) 両側	0.009	
t 境界値 両側	1.991	

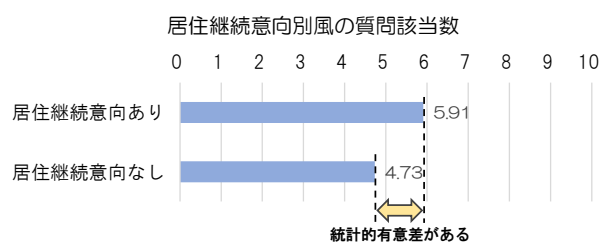


図 4. 居住継続意向別風の質問該当数の平均値

表 5. 風の質問該当数の違いによる居住継続意向を持つ回答者の割合の差の検定結果

	風の質問該当数 Zスコア0.5以上	風の質問該当数 Zスコア0.5未満
平均	0.869	0.740
分散	0.116	0.194
観測数	61	154
仮説平均との差異	0	
自由度	141	
t	2.289	
P(T<=t) 片側	0.012	
t 境界値 片側	1.656	
P(T<=t) 両側	0.024	
t 境界値 両側	1.977	

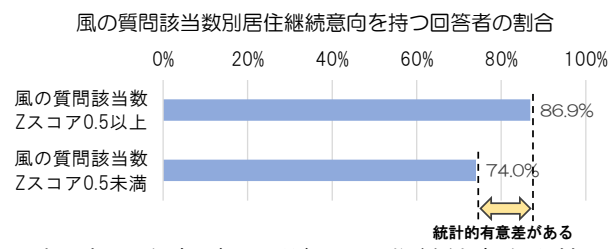


図 5. 風の質問該当数の多寡（2 区分）別居住継続意向を持つ回答者の割合

1 - 3. 居住継続意向と地域しあわせ風土指標「土の質問」の該当数の関係

地域しあわせ風土指標の土の質問（以降、土の質問と記載する）の該当数が多いほど、富良野市は多様な幸せを感じられる地域だと評価していると推察される。それに伴い、居住継続意向の強さも異なると予想される。そこで、居住継続意向の有無によって土の質問の該当数の平均値に統計的有意差があるのかを確認するべく t 検定を行った。その結果、両者の土の質問の該当数には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表 6、図 6）。

次に、土の質問の該当数の多寡によって居住継続意向を持つ回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、回答者を土の質問の該当数の Z スコアを基に、「土の質問の該当数の Z スコアが 0.5 以上」のグループと「土の質問の該当数の Z スコアが 0.5 未満」のグループに分けた上で、両者の居住継続意向を持つ回答者の割合について t 検定を行った。その結果、両者の居住継続意向を持つ回答者の割合には、5%未満水準で有意な差があると判断された（表 7、図 7）。これらの結果から、居住継続意向を持つ回答者は土の質問の該当数が有意に多く、土の質問の該当数が多い回答者は居住継続意向が有意に強い傾向にあると分かる。

表 6. 居住継続意向を持つ回答者と持たない回答者の土の質問該当数の差の検定結果

	居住継続意向あり	居住継続意向なし
平均	0.105	-0.364
分散	1.013	0.822
観測数	167	48
仮説平均との差異	0	
自由度	83	
t	3.082	
P(T<=t) 片側	0.001	
t 境界値 片側	1.663	
P(T<=t) 両側	0.003	
t 境界値 両側	1.989	

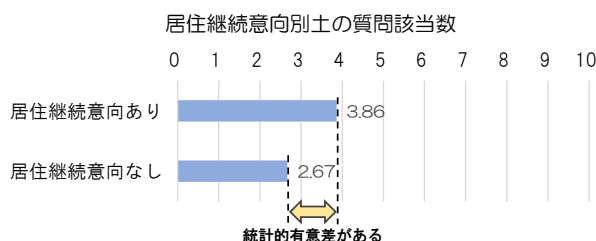


図 6. 居住継続意向別土の質問該当数の平均値

表 7. 土の質問該当数の違いによる居住継続意向を持つ回答者の割合の差の検定結果

	土の質問該当数 Zスコア0.5以上	土の質問該当数 Zスコア0.5未満
平均	0.851	0.738
分散	0.128	0.195
観測数	74	141
仮説平均との差異	0	
自由度	177	
t	2.038	
P(T<=t) 片側	0.022	
t 境界値 片側	1.654	
P(T<=t) 両側	0.043	
t 境界値 両側	1.973	

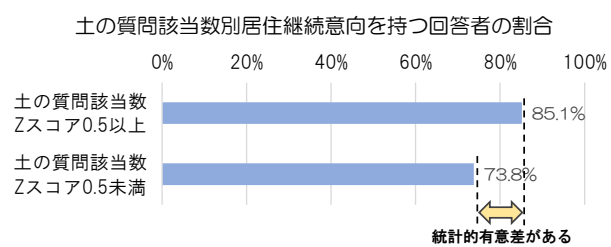


図 7. 土の質問該当数の多寡（2 区分）別居住継続意向を持つ回答者の割合

1 - 4. 居住継続意向と幸せに繋がっている要素数の関係

富良野市での生活において「幸せを感じる時」及び「幸せを感じる時」が多いほど、幸せを感じる機会は多いと推察される。それに伴い、居住継続意向の強さも異なると予想される。そこで、居住継続意向の有無によって「幸せを感じる時」及び「幸せを感じる時」の該当数（以降、幸せの要素数と記載する）の平均値に統計的有意差があるのかを確認するべく t 検定を行った。その結果、両者の幸せの要素数には、5%未満水準で有意な差があると判断された（表 8、図 8）。

次に、幸せに繋がっている要素数の多寡によって居住継続意向を持つ回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、回答者を幸せの要素数の Z スコアを基に、「幸せの要素数の Z スコアが 0.5 以上」のグループと「幸せの要素数の Z スコアが 0.5 未満」のグループに分けた上で、両者の居住継続意向を持つ回答者の割合について t 検定を行った。その結果、両者の居住継続意向を持つ回答者の割合には、統計的に有意な差はないと判断された（表 9、図 9）。これらの結果から、居住継続意向を持つ回答者は幸せの要素数が有意に多い傾向にあるが、幸せの要素数が多いからといって居住継続意向が強い訳ではないと分かる。

表 8. 居住継続意向を持つ回答者と持たない回答者の幸せの要素数の差の検定結果

	居住継続意向あり	居住継続意向なし
平均	0.089	-0.309
分散	0.882	1.334
観測数	167	48
仮説平均との差異	0	
自由度	66	
t	2.185	
P(T<=t) 片側	0.016	
t 境界値 片側	1.668	
P(T<=t) 両側	0.032	
t 境界値 両側	1.997	

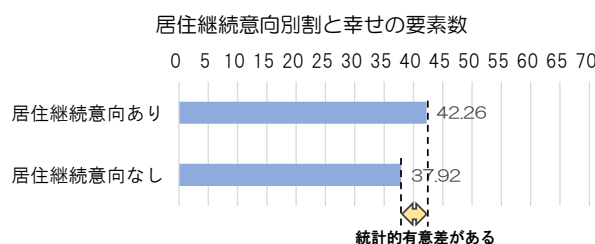


図 8. 居住継続意向別幸せの要素数の平均値

表 9. 幸せの要素数の違いによる居住継続意向を持つ回答者の割合の差の検定結果

	幸せの要素数 Zスコア0.5以上	幸せの要素数 Zスコア0.5未満
平均	0.797	0.765
分散	0.164	0.181
観測数	79	136
仮説平均との差異	0	
自由度	170	
t	0.562	
P(T<=t) 片側	0.288	
t 境界値 片側	1.654	
P(T<=t) 両側	0.575	
t 境界値 両側	1.974	

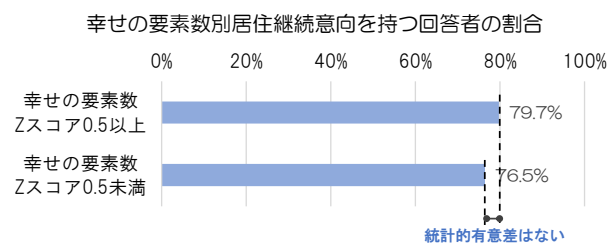


図 9. 幸せの要素数の多寡（2 区分）別居住継続意向を持つ回答者の割合

1 - 5. 居住継続意向と10年前との「幸せを感じる」ときの多さの違いの関係

富良野市での生活において「幸せを感じる」ときについて、10年前より該当する「とき」が多いほど、幸せを感じる感度が鋭くなっていると推察される。それに伴い、居住継続意向の強さも異なると予想される。そこで、居住継続意向の有無によって10年前より「幸せを感じる」ときが多くなった回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべくt検定を行った。その結果、両者の10年前より「幸せを感じる」ときが多くなった回答者の割合には、10%未満水準で有意な差があると判断された(表10, 図10)。

次に、10年前より「幸せを感じる」ときが多いか否かによって居住継続意向を持つ回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、10年前より「幸せを感じる」ときが多い回答者と多くない回答者の居住継続意向を持つ回答者の割合についてt検定を行った。その結果、両者の居住継続意向を持つ回答者の割合には、10%未満水準で有意な差があると判断された(表11, 図11)。これらの結果から、居住継続意向を持つ回答者は10年前より「幸せを感じる」ときが多く、10年前より「幸せを感じる」ときが多いと居住継続意向が強い傾向にあると分かる。

表10. 居住継続意向による幸せを感じる時が多くなった回答者の割合の差の検定結果

	居住継続意向あり	居住継続意向なし
平均	0.437	0.292
分散	0.248	0.211
観測数	167	48
仮説平均との差異	0	
自由度	81	
t	1.897	
P(T<=t) 片側	0.031	
t 境界値 片側	1.664	
P(T<=t) 両側	0.061	
t 境界値 両側	1.990	

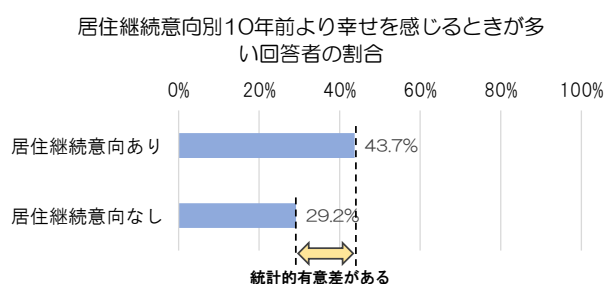


図10. 居住継続意向別幸せを感じる時が多くなった回答者の割合

表11. 幸せを感じる時の増加の有無による居住継続意向を持つ回答者の割合の差の検定結果

	10年前より幸せを感じる時が多い	10年前より幸せを感じる時が多くない
平均	0.839	0.734
分散	0.137	0.197
観測数	87	128
仮説平均との差異	0	
自由度	204	
t	1.879	
P(T<=t) 片側	0.031	
t 境界値 片側	1.652	
P(T<=t) 両側	0.062	
t 境界値 両側	1.972	

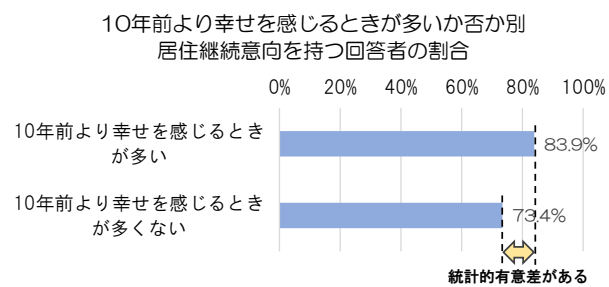


図 11. 幸せを感じる時の増加の有無別居住継続意向を持つ回答者の割合

1 - 6. 居住継続意向と 10 年前との「幸せを感じること」の多さの違いの関係

富良野市での生活において「幸せを感じること」について、10 年前より該当する「こと」が多いほど、幸せを感じる感度が鋭くなっていると推察される。それに伴い、居住継続意向の強さも異なると予想される。そこで、居住継続意向の有無によって 10 年前より「幸せを感じること」が多くなった回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく t 検定を行った。その結果、両者の 10 年前より「幸せを感じること」が多くなった回答者の割合には、統計的に有意な差はないと判断された（表 12, 図 12）。

次に、10 年前より「幸せを感じること」が多いか否かによって居住継続意向を持つ回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、10 年前より「幸せを感じること」が多い回答者と多くない回答者の居住継続意向を持つ回答者の割合について t 検定を行った。その結果、両者の居住継続意向を持つ回答者の割合には、統計的に有意な差はないと判断された（表 13, 図 13）。これらの結果から、居住継続意向を持つ回答者の割合と 10 年前より「幸せを感じること」が多いか否かは関連性がないと分かる。

表 12. 居住継続意向による幸せを感じるが多くなった回答者の割合の差の検定結果

	居住継続意向あり	居住継続意向なし
平均	0.479	0.458
分散	0.251	0.254
観測数	167	48
仮説平均との差異	0	
自由度	76	
t	0.251	
P(T<=t) 片側	0.401	
t 境界値 片側	1.665	
P(T<=t) 両側	0.802	
t 境界値 両側	1.992	

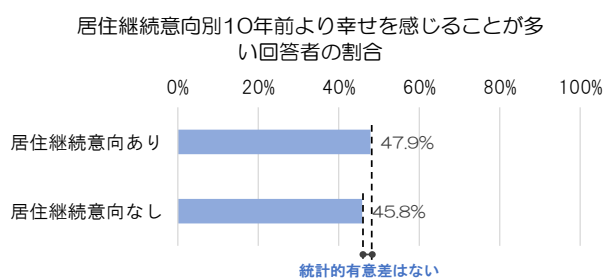


図 12. 居住継続意向別幸せを感じるが多くなった回答者の割合

表 13. 幸せを感じることの増加の有無による居住継続意向を持つ回答者の割合の差の検定結果

	10年前より幸せを 感じるこ が多い	10年前より幸せを 感じるこ が多くない
平均	0.784	0.770
分散	0.171	0.179
観測数	102	113
仮説平均との差異	0	
自由度	212	
t	0.252	
P(T<=t) 片側	0.400	
t 境界値 片側	1.652	
P(T<=t) 両側	0.801	
t 境界値 両側	1.971	

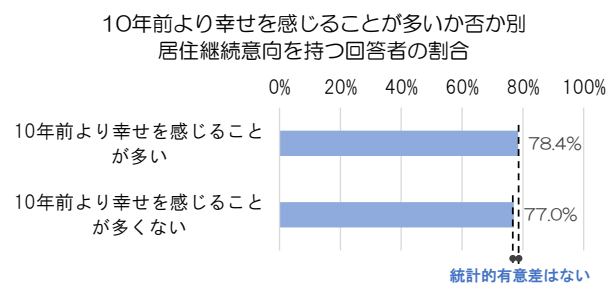


図 13. 幸せを感じることの増加の有無別居住継続意向を持つ回答者の割合

1 - 7. 各幸せの要素及び地域しあわせ風土指標への賛同・該当の有無と居住継続意向の関係

前節までの分析結果から、「10 年前より「幸せを感じる」とが多い」を除く幸せの量的評価の結果は、居住継続意向と関連性があり、主観的幸福度が低いほど、また、風の質問の該当数や土の質問該当数、幸せの要素数が多いほど居住継続意向を持つ傾向にあると分かった（図 14）。

本節では、その傾向に加えて、具体的にどのような「幸せの要素」及び「地域しあわせ風土指標」に賛同・該当していると居住継続意向が強い傾向にあるのかを把握するべく、「幸せの要素」及び「地域しあわせ風土指標」における質問項目ごとに、項目への賛同・該当の有無による居住継続意向を持つ回答者の割合について t 検定を行った（表 14）。その結果、「T02.仕事に没頭しているとき」「T10.人に感謝されたり、喜んでもらえたりしたとき」「T16.外の友人から「ふらのに行きたい」と言われたとき」「T17.いつもの日常」「T20.できないと思っていたことができたとき」「T22.自分が自立できていると感じられたとき」の 6 項目の幸せを感じる時、「F06.親族や仲間との助け合いを続けるだけの金銭的余裕がある」「F11.地域のひとたちとのつながりが強い」「F19.ふらは自分にとって、ほどよい規模のまちだと感じている」「F22.ふらは自慢できるまちであると感じている」「F23.ふらのの人たちは気質がいいと感じている」「F26.富良野市の自治体窓口は、親切で好感が持てる」「F27.富良野市の人たちはゴミ出しのマナーがいいと感じている」「F28.いろいろな世代の人と出会ったり、交流できる機会が多い」「F31.自分は一体感のある地域に住んでいると思う」「F32.自分は自分の地域に愛着を持っている」「F33.富良野市は文化芸術に触れる機会が多いまちだと思う」の 11 項目の幸せを感じる時、「風 03.いま抱えている問題は大体何とかなると思う」「風 08.失敗や嫌なことに対し、あまりくよくよしないほうだ」の 2 項目の風の質問及び「土 02.目標を持って頑張る人を応援する地域」「土 03.助け合いや感謝の気持ちを大切にする地域」「土 04.人間関係が豊かで、あいさつや笑顔があふれる地域」「土 05.挑戦するこ

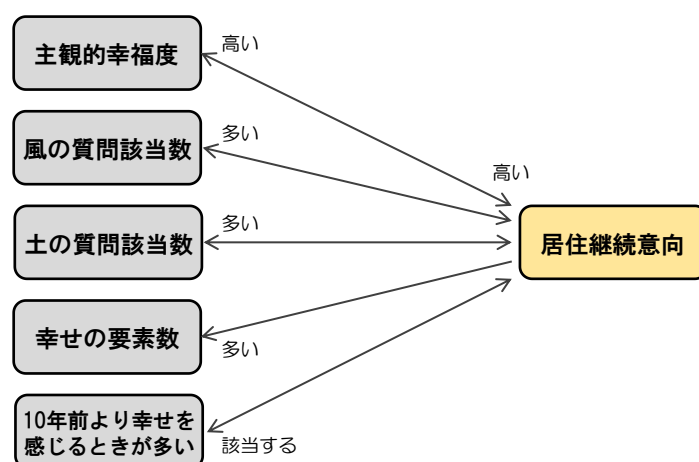


図 14. 幸せの量的評価の結果と別居住継続意向の関係

表 14. 具体的な幸せの要素及び地域しあわせ風土指標の賛同・該当の有無による居住継続意向を持つ回答者の割合の差の検定

	具体的な項目	居住継続意向を持つ回答者の割合		p値
		該当する回答者	該当しない回答者	
幸せを感じるとき	T01 おいしいものを飲み食いしているとき	78.5%	50.0%	0.261
	T02 仕事に没頭しているとき	83.9%	59.3%	0.001
	T03 趣味に没頭しているとき	77.7%	77.8%	0.992
	T04 何かをやり遂げたとき	79.3%	58.8%	0.123
	T05 自分自身の成長を感じたとき	79.8%	63.0%	0.100
	T06 新たな刺激をもらったとき	79.1%	69.7%	0.283
	T07 一人で何をしてもなくのんびり過ごしているとき	78.7%	66.7%	0.321
	T08 仲間と一緒に何かに取り組んでいるとき	79.8%	63.0%	0.100
	T09 仲間と何をしてもなくのんびり過ごしているとき	78.2%	75.6%	0.734
	T10 人に感謝されたり、喜んでもらえたりしたとき	79.5%	53.3%	0.074
	T11 家族や恋人と一緒に何かをしているとき	78.8%	58.3%	0.201
	T12 家族や恋人と何をしてもなくのんびり過ごしているとき	78.2%	72.2%	0.603
	T13 子や孫の成長を感じられたとき	79.8%	63.0%	0.100
	T14 ベットといるとき	76.9%	78.7%	0.745
	T15 自然の美しさや心地よさに触れたとき	78.8%	58.3%	0.201
	T16 外の友人から「ふらのに行きたい」と言われたとき	85.0%	52.1%	0.000
	T17 いつもの日常	79.4%	56.3%	0.096
	T18 とっておきの場所を見つけたとき	79.0%	69.0%	0.283
	T19 新たな習慣・行動を始めてみようと思ったとき	78.8%	73.3%	0.459
	T20 できないと思っていたことができたとき	80.3%	59.3%	0.045
	T21 ゆっくり休めたとき	78.2%	69.2%	0.521
	T22 自分が自立できていると感じられたとき	80.2%	60.7%	0.056
幸せを感じること	F01 暮らしていくうえで困らない程度には金銭的余裕がある	76.5%	89.5%	0.112
	F02 暮らしていくうえで親族・仲間からの助けが得られている	77.8%	77.2%	0.920
	F03 やりたいと思ったことをやるときにそれができる金銭的余裕がある	76.9%	81.0%	0.558
	F04 やりたいと思ったことをやるときにそれができる時間的余裕がある	75.5%	84.6%	0.135
	F05 やりたいと思ったことをやるときに一緒にやれる仲間がいる	77.6%	77.8%	0.978
	F06 親族や仲間との助け合いを続けるだけの金銭的余裕がある	74.3%	84.5%	0.073
	F07 親族や仲間との助け合いを続けるだけの時間的余裕がある	75.4%	82.2%	0.239
	F08 自分のことを理解してくれる人がいる	78.7%	73.2%	0.471
	F09 自分の心にゆとりがある	78.7%	73.0%	0.482
	F10 自分の周りに、心にゆとりをもった人がある	76.4%	80.0%	0.545
	F11 地域のひとたちとのつながりが強い	83.8%	71.8%	0.034
	F12 観光客や移住者など、外の地域から人が来ていると感じる	82.6%	76.3%	0.340
	F13 おいしい食べ物が手に入る	76.6%	80.3%	0.549
	F14 地域の子供の元気な声を耳にする	79.2%	75.3%	0.506
	F15 家族が健康である	78.0%	73.3%	0.707
	F16 自分が健康である	77.7%	77.8%	0.994
	F17 家族や恋人がいる	79.4%	65.4%	0.171
	F18 お気に入りの飲食店がある	76.7%	78.9%	0.690
	F19 ふらはの自分にとって、ほどよい規模のまちだと感じている	85.5%	65.5%	0.001
	F20 ふらはの暮らしていくのに不便のないまちでだと感じている	80.8%	72.9%	0.191
	F21 ふらはの外の地域の人から評価されていると感じている	83.6%	74.6%	0.120
	F22 ふらはの自慢できるまちであると感じている	87.1%	70.5%	0.002
	F23 ふらのの人たちは気質がいいと感じている	83.2%	72.2%	0.054
	F24 自宅は快適で過ごしやすく、満足している	79.3%	66.7%	0.204
	F25 富良野市の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う	79.9%	72.1%	0.246
	F26 富良野市の自治体窓口は、親切で好感が持てる	83.8%	67.1%	0.008
	F27 富良野市の人たちはゴミ出しのマナーがいいと感じている	81.6%	69.1%	0.056
	F28 いろいろな世代の人と出会ったり、交流できる機会が多い	83.7%	72.1%	0.041
	F29 やりたいことに挑戦したり、成長する機会が多いまちだと感じる	77.1%	78.2%	0.856
	F30 地域の文化や風習が脈々と継承されているのを感じる	81.8%	75.4%	0.264
	F31 自分は一体感のある地域に住んでいると思う	88.0%	69.9%	0.001
	F32 自分は自分の地域に愛着を持っている	85.9%	63.8%	0.000
	F33 富良野市は文化芸術に触れる機会が多いまちだと思う	84.2%	72.5%	0.036
	F34 ふらののまちは歩いていても気持ちいいと感じる	80.9%	72.2%	0.155
	F35 運動で気持ちのいい汗を流せる	76.1%	79.6%	0.537
風の質問	風01 得意としていることがある	79.0%	76.0%	0.609
	風02 人を喜ばせるのが好きだ	80.1%	71.9%	0.209
	風03 いま抱えている問題は大体何とかなると思う	86.4%	68.6%	0.002
	風04 自分と他人をあまり比べない方だ	81.5%	73.8%	0.180
	風05 現在の暮らしや、自分の将来への不安は少ない方だ	81.3%	75.6%	0.323
	風06 何か目的・目標を持ってやっているといることがある	81.0%	74.5%	0.260
	風07 いろいろなことに感謝する方だ	80.5%	68.6%	0.107
	風08 失敗や嫌なことにに対し、あまりよくよししないほうだ	85.4%	71.4%	0.012
	風09 他人の目を気にせずに、自分がやるべきだと思うことはやる	79.5%	74.7%	0.417
	風10 自分は安全な生活を送っていると思う	80.5%	71.2%	0.154
土の質問	土01 自分の好きなこと、得意なことに熱中している人が多い地域	77.3%	77.9%	0.926
	土02 目標を持って頑張る人を応援する地域	87.9%	73.9%	0.013
	土03 助け合いや感謝の気持ちを大切にしている地域	84.3%	71.7%	0.025
	土04 人間関係が豊かで、あいさつや笑顔があふれる地域	89.2%	67.3%	0.000
	土05 挑戦することを応援し、失敗を許容する地域	88.6%	74.9%	0.021
	土06 楽観的、前向きな地域	82.0%	76.4%	0.382
	土07 他人と違うこと、個性を大切にしている地域	86.8%	75.7%	0.088
	土08 よそ者、若者、マイノリティなど多様な人を受け入れる地域	80.7%	75.6%	0.373
	土09 食べ物や住まいには困らない地域	82.7%	70.5%	0.041
	土10 身の危険を感じず、安全に暮らせる地域	79.7%	73.1%	0.304

とを応援し、失敗を許容する地域」「土 07.他人と違うこと、個性を大切にする地域」「土 09.食べ物や住まいには困らない地域」の6項目の土の質問の賛同・該当の有無によって、居住継続意向を持つ回答者の割合には統計的に有意な差があると判断された。このうち「F06.親族や仲間との助け合いを続けるだけの金銭的余裕がある」以外の24項目は、賛同・該当しているグループの方が居住継続意向を持つ回答者の割合が高いことから、この24項目に賛同・該当していると居住継続意向が強い傾向にあると分かる。

2. 地域に魅力・愛着を感じているか否かと幸せの感じ方の関係

2 - 1. 地域に魅力・愛着を感じているか否かと主観的幸福度の関係

地域に魅力・愛着を感じているか否かの回答ごとに、主観的幸福度の平均値及び幸福度の度数別回答者数を集計した。その結果を表 15 に示す。

幸福度の平均値を見ると、地域への魅力・愛着について「感じている」と回答した市民が最も高く、次いで「少し感じている」と回答した市民が高い。地域に魅力・愛着を感じている回答者の方が、幸福度が高い傾向にあると分かる。

そこで、地域への魅力・愛着について「非常に感じている」「感じている」「少し感じている」と回答した市民を地域に魅力・愛着を感じている市民と、「ほとんど感じていない」「全く感じていない」と回答した市民を地域に魅力・愛着を感じていない市民と定義し、魅力・愛着を感じているか否かによって幸福度の平均値に統計的有意差があるのかを確認するべく t 検定を行った。その結果、両者の幸福度の平均値には 1%未満水準で有意な差があると判断された（表 16, 図 15）。

次に、主観的幸福度の多寡によって地域への魅力・愛着が異なる傾向にあるのか確かめるため、主観的幸福度の度数ごとに地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合を集

表 15. 魅力・愛着と主観的幸福度のクロス集計表

	サンプル数	主観的幸福度							
		平均値	幸福度1	幸福度2	幸福度3	幸福度4	幸福度5	幸福度6	幸福度7
非常に感じている	72	5.82	0	0	3	9	11	24	25
感じている	240	5.31	2	2	6	44	73	81	32
少し感じている	192	4.93	0	3	13	65	48	40	23
ほとんど感じていない	78	4.32	1	5	7	38	13	10	4
全く感じていない	16	3.81	2	0	3	7	3	0	1
計	598	-	5	10	32	163	148	155	85
魅力・愛着を感じている回答者の割合	84.3%	-	40.0%	50.0%	68.8%	72.4%	89.2%	93.5%	94.1%

※表 15 及び図 16 は、魅力・愛着及び主観的幸福度の質問ごと有効回答を集計した結果であるのに対し、検定は全質問を通して有効回答であったサンプルを用いている。そのため、表 15 及び図 16 とその他の図表の魅力・愛着を感じている回答者の割合及び主観的幸福度の平均値は異なる。

表 16. 魅力・愛着を感じている回答者と感じていない回答者の主観的幸福度の差の検定結果

	魅力や愛着を感じている	魅力や愛着を感じていない
平均	0.164	-0.972
分散	0.843	0.881
観測数	184	31
仮説平均との差異	0	
自由度	40	
t	6.250	
P(T<=t) 片側	0.000	
t 境界値 片側	1.684	
P(T<=t) 両側	0.000	
t 境界値 両側	2.021	

計した。その結果、主観的幸福度が低いほど地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合も高い傾向にあった（図 16）。

この結果を踏まえて、幸福度が比較的高い回答者（幸福度 5 以上）とそうでない回答者（幸福度 4 以下）で地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合に差があるか否か確認するべく t 検定を行った。その結果、両者の地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表 17, 図 17）。これらの結果から、地域に魅力・愛着を感じている回答者は主観的幸福度が有意に高く、幸福度が高い回答者は魅力・愛着を感じている回答者の割合が有意に高い傾向にあると分かる。

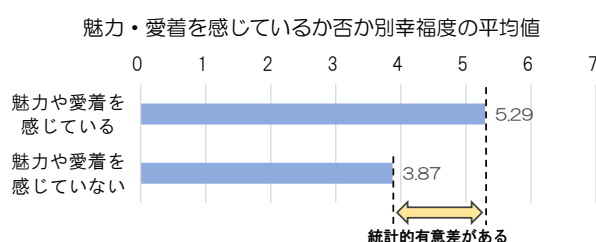


図 15. 魅力・愛着を感じているか否か別主観的幸福度の平均値

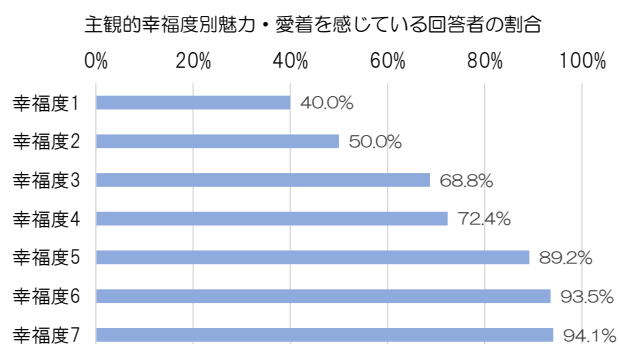


図 16. 主観的幸福度別魅力・愛着を感じている回答者の割合

表 17. 主観的幸福度の違いによる魅力・愛着を感じている回答者の割合の差の検定結果

	幸福度5以上	幸福度4以下
平均	0.952	0.647
分散	0.046	0.232
観測数	147	68
仮説平均との差異	0	
自由度	79	
t	5.006	
P(T<=t) 片側	0.000	
t 境界値 片側	1.664	
P(T<=t) 両側	0.000	
t 境界値 両側	1.990	

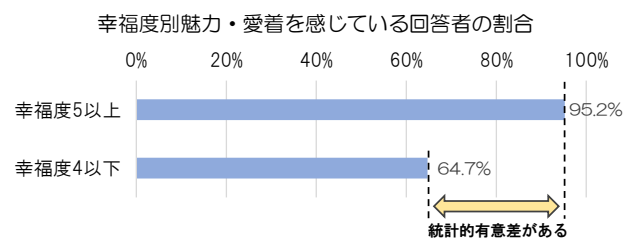


図 17. 主観的幸福度の大きさ（2 区分）別魅力・愛着を感じている回答者の割合

2 - 2. 地域に魅力・愛着を感じているか否かと地域しあわせ風土指標「風の質問」の該当数の関係

風の質問の該当数が多いほど、多様な幸せの気持ちを持つと推察される。それに伴い、地域への魅力・愛着も異なると予想される。そこで、地域に魅力・愛着を感じているか否かによって風の質問の該当数の平均値に統計的有意差があるのかを確認するべく t 検定を行った。その結果、両者の風の質問の該当数には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表 18、図 18）。

次に、風の質問の該当数の多寡によって地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、回答者を風の質問の該当数の Z スコアを基に、「風の質問の該当数の Z スコアが 0.5 以上」のグループと「風の質問の該当数の Z スコアが 0.5 未満」のグループに分けた上で、両者の地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合について t 検定を行った。その結果、両者の地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表 19、図 19）。これらの結果から、地域に魅力・愛着を感じている回答者は風の質問の該当数が有意に多く、風の質問の該当数が多い回答者は地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合が有意に高い傾向にあると分かる。

表 18. 地域に魅力・愛着を感じている回答者と感じていない回答者の風の質問該当数の差の検定結果

	魅力や愛着を感じている	魅力や愛着を感じていない
平均	0.104	-0.620
分散	0.960	0.849
観測数	184	31
仮説平均との差異	0	
自由度	42	
t	4.013	
P(T<=t) 片側	0.000	
t 境界値 片側	1.682	
P(T<=t) 両側	0.000	
t 境界値 両側	2.018	

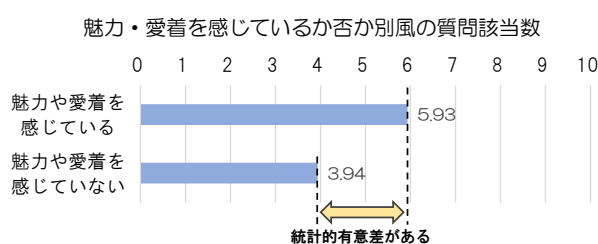


図 18. 地域に魅力・愛着を感じているか否か別風の質問該当数の平均値

表 19. 風の質問該当数の違いによる地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合の差の検定結果

	風の質問Zスコア 0.5以上	風の質問Zスコア 0.5未満
平均	0.951	0.818
分散	0.048	0.150
観測数	61	154
仮説平均との差異	0	
自由度	188	
t	3.169	
P(T<=t) 片側	0.001	
t 境界値 片側	1.653	
P(T<=t) 両側	0.002	
t 境界値 両側	1.973	

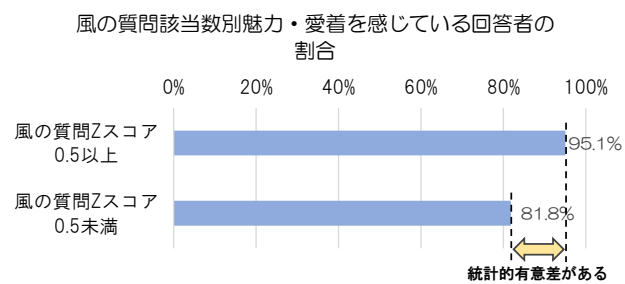


図 19. 風の質問該当数の多寡（2 区分）別地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合

2 - 3. 地域に魅力・愛着を感じているか否かと地域しあわせ風土指標「土の質問」の該当数の関係

土の質問の該当数が多いほど、富良野市は多様な幸せを感じられる地域だと評価していると推察される。それに伴い、地域への魅力・愛着の強さも異なると予想される。そこで、地域に魅力・愛着を感じているか否かによって土の質問の該当数の平均値に統計的有意差があるのかを確認するべくt検定を行った。その結果、両者の土の質問の該当数には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表 20、図 20）。

次に、土の質問の該当数の多寡によって地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、回答者を土の質問の該当数の Z スコアを基に、「土の質問の該当数の Z スコアが 0.5 以上」のグループと「土の質問の該当数の Z スコアが 0.5 未満」のグループに分けた上で、両者の地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合についてt検定を行った。その結果、両者の地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表 21、図 21）。これらの結果から、地域に魅力・愛着を感じている回答者は土の質問の該当数が有意に多く、土の質問の該当数が多い回答者は地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合が有意に高い傾向にあると分かる。

表 20. 地域に魅力・愛着を感じている回答者と感じていない回答者の土の質問該当数の差の検定結果

	魅力や愛着を感じている	魅力や愛着を感じていない
平均	0.105	-0.626
分散	0.998	0.606
観測数	184	31
仮説平均との差異	0	
自由度	48	
t	4.630	
P(T<=t) 片側	0.000	
t 境界値 片側	1.677	
P(T<=t) 両側	0.000	
t 境界値 両側	2.011	

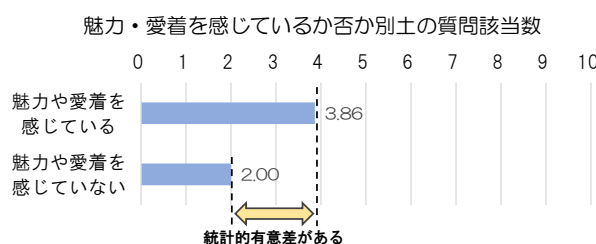


図 20. 地域に魅力・愛着を感じているか否か別土の質問該当数の平均値

表 21. 土の質問該当数の違いによる地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合の差の検定結果

	土の質問Zスコア 0.5以上	土の質問Zスコア 0.5未満
平均	0.946	0.809
分散	0.052	0.156
観測数	74	141
仮説平均との差異	0	
自由度	211	
t	3.234	
P(T<=t) 片側	0.001	
t 境界値 片側	1.652	
P(T<=t) 両側	0.001	
t 境界値 両側	1.971	

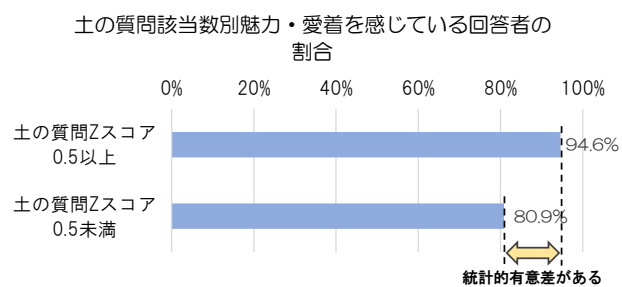


図 21. 土の質問該当数の多寡（2 区分）別地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合

2 - 4. 地域に魅力・愛着を感じているか否かと幸せに繋がっている要素数の関係

富良野市での生活において「幸せを感じる時」及び「幸せを感じる時」が多いほど、幸せを感じる機会が多いと推察される。それに伴い、地域への魅力・愛着の強さも異なると予想される。そこで、地域に魅力・愛着を感じているか否かによって「幸せを感じる時」及び「幸せを感じる時」の該当数の平均値に統計的有意差があるのかを確認するべくt検定を行った。その結果、両者の幸せの要素数には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表 22, 図 22）。

次に、幸せに繋がっている要素数の多寡によって地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、回答者を幸せの要素数の Z スコアを基に、「幸せの要素数の Z スコアが 0.5 以上」のグループと「幸せの要素数の Z スコアが 0.5 未満」のグループに分けた上で、両者の地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合についてt検定を行った。その結果、両者の地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合には、5%未満水準で有意な差があると判断された（表 23, 図 23）。これら

表 22. 地域に魅力・愛着を感じている回答者と感じていない回答者の幸せの要素数の差の検定結果

	魅力や愛着を感じている	魅力や愛着を感じていない
平均	0.121	-0.720
分散	0.854	1.328
観測数	184	31
仮説平均との差異	0	
自由度	37	
t	3.863	
P(T<=t) 片側	0.000	
t 境界値 片側	1.687	
P(T<=t) 両側	0.000	
t 境界値 両側	2.026	

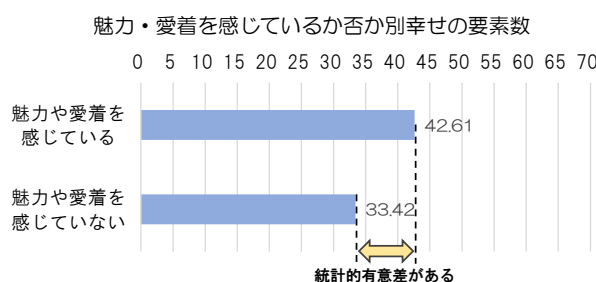


図 22. 地域に魅力・愛着を感じているか否か別幸せの要素数の平均値

表 23. 幸せの要素数の違いによる地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合の差の検定結果

	幸せの要素数 Zスコア0.5以上	幸せの要素数 Zスコア0.5未満
平均	0.924	0.816
分散	0.071	0.151
観測数	79	136
仮説平均との差異	0	
自由度	207	
t	2.405	
P(T<=t) 片側	0.009	
t 境界値 片側	1.652	
P(T<=t) 両側	0.017	
t 境界値 両側	1.971	

の結果から、地域に魅力・愛着を感じている回答者は幸せの要素数が有意に多く、幸せの素数が多い回答者は地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合が有意に高い傾向にあると分かる。

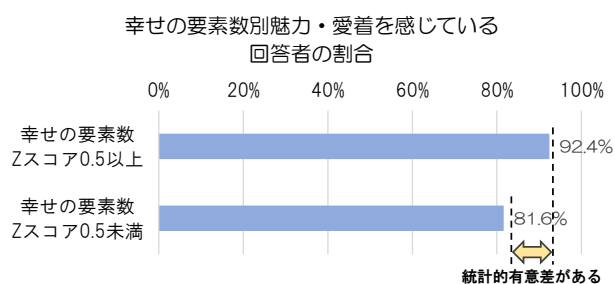


図 23. 幸せの要素数の多寡（2 区分）別地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合

2 - 5. 地域に魅力・愛着を感じているか否かと10年前との「幸せを感じるとき」の多さの違いの関係

富良野市での生活において「幸せを感じるとき」について、10年前より該当する「とき」が多いほど、幸せを感じる感度が鋭くなっていると推察される。それに伴い、地域への魅力・愛着の強さも異なると予想される。そこで、地域に魅力・愛着を感じているか否かによって10年前より「幸せを感じるとき」が多くなった回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべくt検定を行った。その結果、両者の10年前より「幸せを感じるとき」が多くなった回答者の割合には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表24, 図24）。

次に、10年前より「幸せを感じるとき」が多いか否かによって地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、10年前より「幸せを感じるとき」が多い回答者と多くない回答者の地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合についてt検定を行った。その結果、両者の地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表25, 図25）。これら

表24. 地域に魅力・愛着を感じているか否かによる幸せを感じるときが多くなった回答者の割合の差の検定結果

	魅力や愛着を感じている	魅力や愛着を感じていない
平均	0.457	0.097
分散	0.249	0.090
観測数	184	31
仮説平均との差異	0	
自由度	62	
t	5.506	
P(T<=t) 片側	0.000	
t 境界値 片側	1.670	
P(T<=t) 両側	0.000	
t 境界値 両側	1.999	

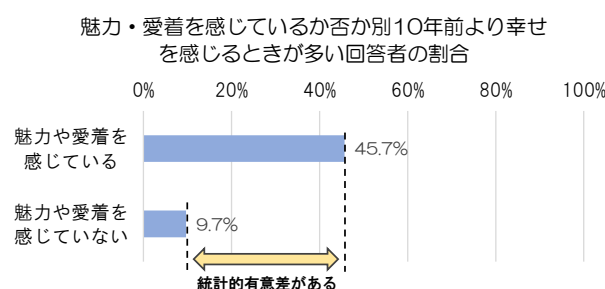


図24. 地域に魅力・愛着を感じているか否か別幸せを感じるときが多くなった回答者の割合

表25. 幸せを感じるときの増加の有無による地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合の差の検定結果

	10年前より幸せを感じるときが多い	10年前より幸せを感じるときが多くない
平均	0.966	0.781
分散	0.034	0.172
観測数	87	128
仮説平均との差異	0	
自由度	188	
t	4.427	
P(T<=t) 片側	0.000	
t 境界値 片側	1.653	
P(T<=t) 両側	0.000	
t 境界値 両側	1.973	

の結果から、地域に魅力・愛着を感じている回答者は10年前より「幸せを感じる時」が多く、10年前より「幸せを感じる時」が多いと地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合が有意に高い傾向にあると分かる。

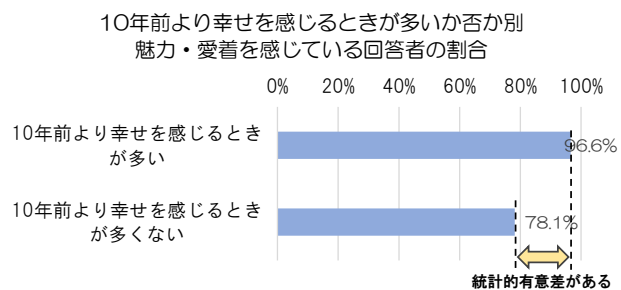


図 25. 幸せを感じる時の増加の有無別地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合

2 - 6. 地域に魅力・愛着を感じているか否かと10年前との「幸せを感じること」の多さの違いの関係

富良野市での生活において「幸せを感じること」について、10年前より該当する「こと」が多いほど、幸せを感じる感度が鋭くなっていると推察される。それに伴い、地域への魅力・愛着の強さも異なると予想される。そこで、地域に魅力・愛着を感じているか否かによって10年前より「幸せを感じること」が多くなった回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべくt検定を行った。その結果、両者の10年前より「幸せを感じること」が多くなった回答者の割合には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表26, 図26）。

次に、10年前より「幸せを感じること」が多いか否かによって地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、10年前より「幸せを感じること」が多い回答者と多くない回答者の地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合についてt検定を行った。その結果、両者の地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表27, 図27）。これら

表26. 地域に魅力・愛着を感じているか否かによる幸せを感じるが多くなった回答者の割合の差の検定結果

	魅力や愛着を感じている	魅力や愛着を感じていない
平均	0.522	0.194
分散	0.251	0.161
観測数	184	31
仮説平均との差異	0	
自由度	47	
t	4.050	
P(T<=t) 片側	0.000	
t 境界値 片側	1.678	
P(T<=t) 両側	0.000	
t 境界値 両側	2.012	

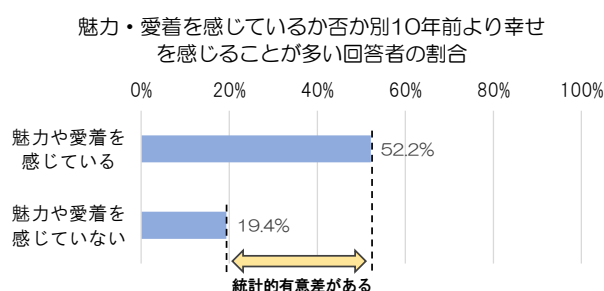


図26. 地域に魅力・愛着を感じているか否か別幸せを感じるが多くなった回答者の割合

表27. 幸せを感じることの増加の有無による地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合の差の検定結果

	10年前より幸せを感じるが多	10年前より幸せを感じるが多くない
平均	0.941	0.779
分散	0.056	0.174
観測数	102	113
仮説平均との差異	0	
自由度	181	
t	3.556	
P(T<=t) 片側	0.000	
t 境界値 片側	1.653	
P(T<=t) 両側	0.000	
t 境界値 両側	1.973	

の結果から、地域に魅力・愛着を感じている回答者は10年前より「幸せを感じること」が多く、10年前より「幸せを感じること」が多いと地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合が有意に高い傾向にあると分かる。

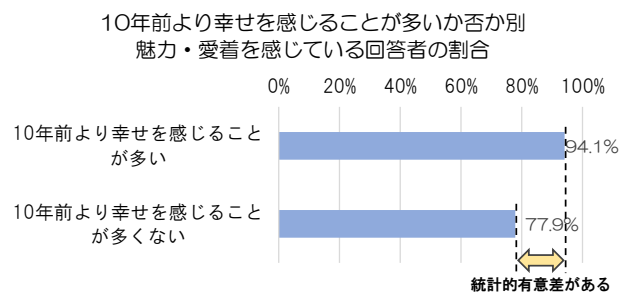


図 27. 幸せを感じることの増加の有無別地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合

2 - 7. 各幸せの要素及び地域しあわせ風土指標への賛同・該当の有無と地域への魅力・愛着の関係

前節までの分析結果から、幸せの量的評価の結果は、地域への魅力・愛着と関連性があり、主観的幸福度が高いほど、また、風の質問の該当数や土の質問該当数、幸せの要素数が多いほど地域に魅力・愛着を感じている傾向にあると分かった（図 28）。

本節では、その傾向に加えて、具体的にどのような「幸せの要素」及び「地域しあわせ風土指標」に賛同・該当していると地域への魅力・愛着が強い傾向にあるのかを把握するべく、「幸せの要素」及び「地域しあわせ風土指標」における質問項目ごとに、項目への賛同・該当の有無による地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合について t 検定を行った（表 28）。その結果、「T02.仕事に没頭しているとき」「T03.趣味に没頭しているとき」「T05.自分自身の成長を感じたとき」「T06.新たな刺激をもらったとき」「T08.仲間と一緒に何かに取り組んでいるとき」「T10.人に感謝されたり、喜んでもらえたりしたとき」「T15.自然の美しさや心地よさに触れたとき」「T16.外の友人から「ふらのに行きたい」と言われたとき」「T17.いつもの日常」「T18.とっておきの場所を見つけたとき」「T19.新たな習慣・行動を始めてみようと思ったとき」「T20.できないと思っていたことができたとき」「T21.ゆっくり休めたとき」「T22.自分が自立できていると感じられたとき」の 14 項目の幸せを感じる時、「F11.地域のひとたちとのつながりが強い」「F12.観光客や移住者など、外の地域から人が来ていると感じる」「F15.家族が健康である」「F19.ふらは自分にとって、ほどよい規模のまちだと感じている」「F20.ふらは暮らしていくのに不便のないまちでだと感じている」「F22.ふらは自慢できるまちであると感じている」「F23.ふらのの人たちは気質がいいと感じている」「F24.自宅は快適で過ごしやすく、満足している」「F25.富良野市の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う」「F26.富良野市の自治体窓口は、親切で好感が持てる」「F27.富良野

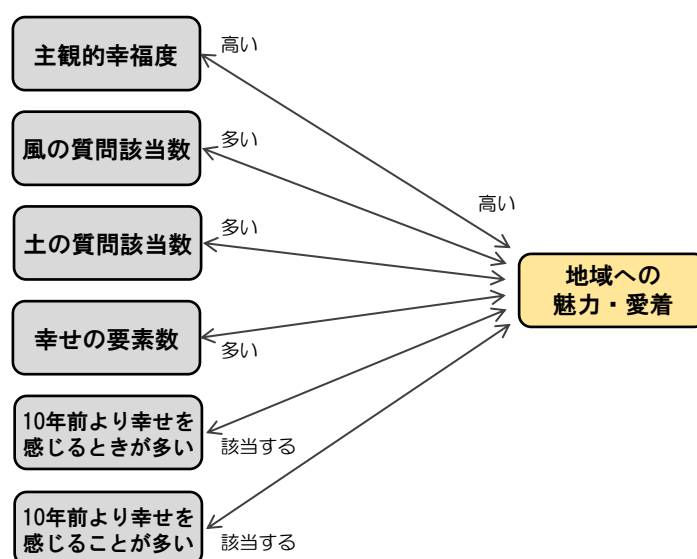


図 28. 幸せの量的評価の結果と地域への魅力・愛着の関係

表 28. 具体的な幸せの要素及び地域しあわせ風土指標の賛同・該当の有無による地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合の差の検定

		具体的な項目	地域に魅力や愛着を感じている 回答者の割合		p値
			該当する回答者	該当しない回答者	
幸 せ を 感 じ る と き	T01	おいしいものを飲み食いしているとき	86.6%	50.0%	0.163
	T02	仕事に没頭しているとき	93.8%	61.1%	0.000
	T03	趣味に没頭しているとき	87.3%	66.7%	0.094
	T04	何かをやり遂げたとき	86.9%	70.6%	0.180
	T05	自分自身の成長を感じたとき	87.8%	70.4%	0.070
	T06	新たな刺激をもらったとき	89.0%	66.7%	0.014
	T07	一人で何をするでもなくのんびり過ごしているとき	86.8%	72.2%	0.206
	T08	仲間と一緒に何かに取り組んでいるとき	88.3%	66.7%	0.031
	T09	仲間と何をするでもなくただのんびり過ごしているとき	86.8%	80.5%	0.357
	T10	人に感謝されたり、喜んでもらえたりしたとき	87.5%	60.0%	0.057
	T11	家族や恋人と一緒に何かをしているとき	86.2%	75.0%	0.416
	T12	家族や恋人と何をするでもなくただのんびり過ごしているとき	86.3%	77.8%	0.422
	T13	子や孫の成長を感じられたとき	86.7%	77.9%	0.303
	T14	ペットといるとき	86.0%	85.1%	0.863
	T15	自然の美しさや心地よさに触れたとき	87.7%	50.0%	0.030
	T16	外の友人から「ふらのに行きたい」と言われたとき	93.4%	58.3%	0.000
	T17	いつもの日常	88.9%	43.8%	0.003
	T18	とっておきの場所を見つけたとき	89.2%	62.1%	0.007
	T19	新たな習慣・行動を始めてみようと思ったとき	88.2%	75.6%	0.073
	T20	できないと思っていたことができたとき	87.8%	70.4%	0.070
	T21	ゆっくり休めたとき	87.1%	61.5%	0.096
	T22	自分が自立できていると感じられたとき	88.2%	67.9%	0.036
幸 せ を 感 じ る こ と	F01	暮らしていくうえで困らない程度には金銭的余裕がある	85.2%	89.5%	0.583
	F02	暮らしていくうえで親族・仲間からの助けが得られている	84.8%	87.7%	0.580
	F03	やりたいと思ったことをやるときにそれができる金銭的余裕がある	85.5%	85.7%	0.978
	F04	やりたいと思ったことをやるときにそれができる時間的余裕がある	85.3%	86.5%	0.820
	F05	やりたいと思ったことをやるときに一緒にやれる仲間がいる	87.3%	82.7%	0.371
	F06	親族や仲間との助け合いを続けるだけの金銭的余裕がある	84.0%	88.7%	0.335
	F07	親族や仲間との助け合いを続けるだけの時間的余裕がある	85.9%	84.9%	0.848
	F08	自分のことを理解してくれる人がいる	86.8%	80.5%	0.357
	F09	自分の心にゆとりがある	86.0%	83.8%	0.746
	F10	自分の周りに、心にゆとりをもった人がいる	87.1%	82.7%	0.394
	F11	地域のひとたちとのつながりが強い	91.4%	80.0%	0.016
	F12	観光客や移住者など、外の地域から人が来ていると感じる	93.5%	83.4%	0.034
	F13	おいしい食べ物が手に入る	87.7%	80.3%	0.208
	F14	地域の子供の元気な声を耳にする	88.5%	81.2%	0.156
	F15	家族が健康である	84.5%	100.0%	0.000
	F16	自分が健康である	85.4%	88.9%	0.769
	F17	家族や恋人がいる	85.2%	88.5%	0.638
	F18	お気に入りの飲食店がある	89.2%	81.1%	0.103
	F19	ふらはは自分にとって、ほどよい規模のまちだと感じている	93.1%	73.8%	0.000
	F20	ふらはは暮らしていくのに不便のないまちでだと感じている	90.8%	77.6%	0.013
	F21	ふらはは外の地域の人から評価されていると感じている	90.4%	83.1%	0.121
	F22	ふらはは自慢できるまちであると感じている	93.5%	79.5%	0.002
	F23	ふらのの人たちは気質がいいと感じている	92.5%	78.7%	0.004
	F24	自宅は快適で過ごしやすく、満足している	89.4%	59.3%	0.005
	F25	富良野市の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う	90.3%	73.8%	0.009
	F26	富良野市の自治体窓口は、親切で好感が持てる	90.4%	77.2%	0.015
	F27	富良野市の人たちはゴミ出しのマナーがいいと感じている	90.5%	75.0%	0.009
	F28	いろいろな世代の人と出会ったり、交流できる機会が多い	95.2%	76.6%	0.000
	F29	やりたいことに挑戦したり、成長する機会が多いまちだと感じる	91.4%	80.0%	0.016
	F30	地域の文化や風習が脈々と継承されているのを感じる	93.5%	81.2%	0.005
	F31	自分は一体感のある地域に住んでいると思う	93.5%	79.7%	0.002
	F32	自分は自分の地域に愛着を持っている	93.3%	72.5%	0.000
	F33	富良野市は文化芸術に触れる機会が多いまちだと思う	94.7%	78.3%	0.000
	F34	ふらののまちは歩いていてもちいといいと感じる	91.2%	75.9%	0.006
	F35	運動で気持ちのいい汗を流せる	90.6%	79.6%	0.026
風 の 質 問	風01	得意としていることがある	90.8%	79.2%	0.020
	風02	人を喜ばせるのが好きだ	90.7%	73.4%	0.005
	風03	いま抱えている問題は大体何とかなると思う	90.9%	80.0%	0.024
	風04	自分と他人をあまり比べない方だ	85.2%	86.0%	0.869
	風05	現在の暮らしや、自分の将来への不安は少ない方だ	90.0%	83.0%	0.135
	風06	何か目的・目標を持ってやっていることがある	90.5%	80.9%	0.045
	風07	いろいろなことに感謝する方だ	90.9%	68.6%	0.002
	風08	失敗や嫌なことに対し、あまりよくよくしないほうだ	92.7%	79.8%	0.005
	風09	他人の目を気にせずに、自分がやるべきだと思うことはやる	88.6%	80.7%	0.128
	風10	自分は安全な生活を送っていると思う	89.3%	77.3%	0.041
土 の 質 問	土01	自分の好きなこと、得意なことに熱中している人が多い地域	92.4%	82.6%	0.031
	土02	目標を持って頑張る人を応援する地域	94.8%	82.2%	0.003
	土03	助け合いや感謝の気持ちを大切にしている地域	91.2%	80.5%	0.024
	土04	人間関係が豊かで、あいさつや笑顔があふれる地域	94.1%	77.9%	0.000
	土05	挑戦することを応援し、失敗を許容する地域	97.7%	82.5%	0.000
	土06	楽観的、前向きな地域	94.0%	83.0%	0.016
	土07	他人と違うこと、個性を大切にしている地域	89.5%	84.7%	0.412
	土08	よそ者、若者、マイノリティなど多様な人を受け入れる地域	92.0%	81.1%	0.017
	土09	食べ物や住まいには困らない地域	92.1%	76.1%	0.002
	土10	身の危険を感じず、安全に暮らせる地域	88.5%	79.1%	0.099

市の人たちはゴミ出しのマナーがいいと感じている」「F28.いろいろな世代の人と出会ったり、交流できる機会が多い」「F29.やりたいことに挑戦したり、成長する機会が多いまちだと感じる」「F30.地域の文化や風習が脈々と継承されているのを感じる」「F31.自分は一体感のある地域に住んでいると思う」「F32.自分は自分の地域に愛着を持っている」「F33.富良野市は文化芸術に触れる機会が多いまちだと思う」「F34.ふらののまちは歩いていてきもちいいと感じる」「F35.運動で気持ちのいい汗を流せる」の 19 項目の幸せを感じること、「風 01.得意としていることがある」「風 02.人を喜ばせるのが好きだ」「風 03.いま抱えている問題は大体何とかなると思う」「風 06.何か目的・目標を持ってやっていることがある」「風 07.いろいろなことに感謝する方だ」「風 08.失敗や嫌なことに対し、あまりくよくよしないほうだ」「風 10.自分は安全な生活を送っていると思う」の 7 項目の風の質問及び「土 07.他人と違うこと、個性を大切にする地域」以外の 9 項目の土の質問の賛同・該当の有無によって、居住継続意向を持つ回答者の割合には統計的に有意な差があると判断された。このうち F15 の質問を除く全ての項目で、賛同・該当しているグループの方が地域に魅力・愛着を感じている回答者の割合が高いことから、これら 48 項目に賛同・該当していると地域に魅力・愛着を感じている傾向にあると分かる。

3. まちづくりやワークショップへの参画意向と幸せの感じ方の関係

3-1. まちづくりやワークショップへの参画意向の有無と主観的幸福度の関係

まちづくりやワークショップ（以下 WS）への参画意向の回答ごとに、主観的幸福度の平均値及び幸福度の度数別回答者数を集計した。その結果を表 29 に示す。

幸福度の平均値を見ると、まちづくりや WS への参画意向について「できるだけ積極的に参加したい」と回答した市民が最も高く、次いで「自分が役に立ちそうなら参加を考える」と回答した市民が高い。ポジティブにまちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の方が、幸福度が高い傾向にあると分かる。

そこで、まちづくりや WS への参画意向について「できるだけ積極的に参加したい」「自分が役に立ちそうなら参加を考える」と回答した市民をまちづくりや WS への参画意向を持つ市民と、「直接頼まれたら参加を考える」「興味がなくはないが、実際に参加するのは難しそう」「興味がない・参加したくない」と回答した市民をまちづくりや WS への参画意向を持たない市民と定義し、まちづくりや WS への参画意向の有無によって幸福度の平均値に統計的有意差があるのかを確認するべく t 検定を行った。その結果、

表 29. まちづくりや WS への参画意向と主観的幸福度のクロス集計表

	サンプル数	主観的幸福度							
		平均値	幸福度1	幸福度2	幸福度3	幸福度4	幸福度5	幸福度6	幸福度7
できるだけ積極的に参加したい	45	5.38	0	0	4	10	11	5	15
自分が役に立ちそうなら参加を考える	205	5.28	1	2	8	45	48	73	28
直接頼まれたら参加を考える	98	5.13	0	2	6	23	27	26	14
興味がなくはないが、実際に参加するのは難しそう	206	4.95	1	4	12	62	59	45	23
興味がない・参加したくない	59	4.39	4	4	4	24	7	8	8
計	613	-	6	12	34	164	152	157	88
まちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合	40.8%	-	16.7%	16.7%	35.3%	33.5%	38.8%	49.7%	48.9%

※表 29 及び図 30 は、まちづくりや WS への参画意向及び主観的幸福度の質問ごと有効回答を集計した結果であるのに対し、検定は全質問を通して有効回答であったサンプルを用いている。そのため、表 29 及び図 30 とその他の図表のまちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合及び主観的幸福度の平均値は異なる。

表 30. まちづくりや WS への参画意向を持つ回答者と感じていない回答者の主観的幸福度の差の検定結果

	まちづくりやWSへの参画意向あり	まちづくりやWSへの参画意向なし
平均	0.224	-0.177
分散	0.801	1.103
観測数	95	120
仮説平均との差異	0	
自由度	212	
t	3.018	
P(T<=t) 片側	0.001	
t 境界値 片側	1.652	
P(T<=t) 両側	0.003	
t 境界値 両側	1.971	

両者の幸福度の平均値には 1%未満水準で有意な差があると判断された(表 30, 図 29)。

次に、主観的幸福度の多寡によってまちづくりや WS への参画意向が異なる傾向にあるのか確かめるため、主観的幸福度の度数ごとにまちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合を集計した。その結果、主観的幸福度が高いほどまちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合も高い傾向にあった(図 30)。

この結果を踏まえて、幸福度が比較的高い回答者(幸福度 5 以上)とそうでない回答者(幸福度 4 以下)でまちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合に差があるのか確認するべく t 検定を行った。その結果、両者のまちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合には、1%未満水準で有意な差があると判断された(表 31, 図 31)。これらの結果から、まちづくりや WS への参画意向を持つ回答者は主観的幸福度が有意に高く、幸福度が高い回答者はまちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合が有意に高い傾向にあると分かる。

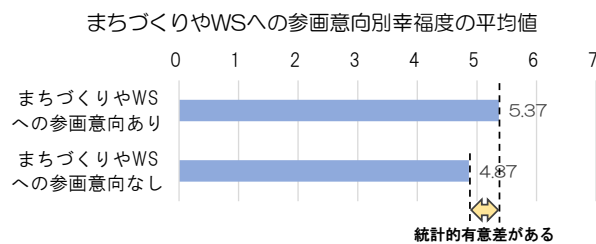


図 29. まちづくりや WS への参画意向の有無別主観的幸福度の平均値

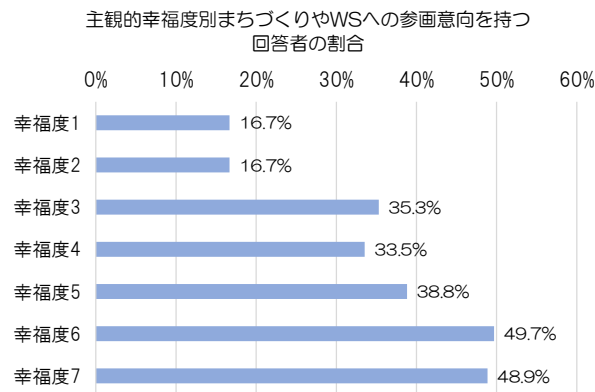


図 30. 主観的幸福度別まちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合

表 31. 主観的幸福度の違いによるまちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合の差の検定結果

	幸福度5以上	幸福度4以下
平均	0.503	0.309
分散	0.252	0.217
観測数	147	68
仮説平均との差異	0	
自由度	140	
t	2.780	
P(T<=t) 片側	0.003	
t 境界値 片側	1.656	
P(T<=t) 両側	0.006	
t 境界値 両側	1.977	

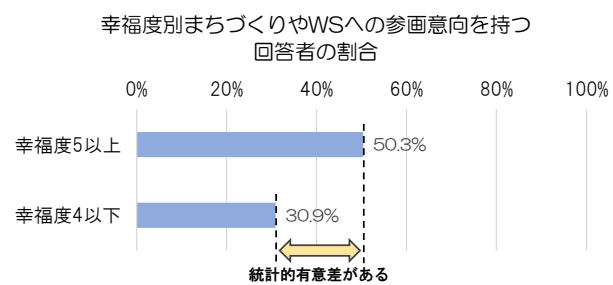


図 31. 主観的幸福度の大きさ（2 区分）別まちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合

3 - 2. まちづくりやWSへの参画意向と地域しあわせ風土指標「風の質問」の該当数の関係

風の質問の該当数が多いほど、多様な幸せの気持ちを持つと推察される。それに伴い、まちづくりやWSへの参画意向の強さも異なると予想される。そこで、まちづくりやWSへの参画意向の有無によって風の質問の該当数の平均値に統計的有意差があるのかを確認するべくt検定を行った。その結果、両者の風の質問の該当数には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表32、図32）。

次に、風の質問の該当数の多寡によってまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、回答者を風の質問の該当数のZスコアを基に、「風の質問の該当数のZスコアが0.5以上」のグループと「風の質問の該当数のZスコアが0.5未満」のグループに分けた上で、両者のまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合についてt検定を行った。その結果、両者のまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表33、図33）。これらの結果から、まちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者は風の質問の該当数が有意に多く、風の質問の該当数が多い回答者はまちづくりやWSへの参画意向が有意に強い傾向にあると分かる。

表32. まちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者と持っていない回答者の風の質問該当数の差の検定結果

	まちづくりやWSへの参画意向あり	まちづくりやWSへの参画意向なし
平均	0.399	-0.316
分散	0.712	1.016
観測数	95	120
仮説平均との差異	0	
自由度	212	
t	5.656	
P(T<=t) 片側	0.000	
t境界値 片側	1.652	
P(T<=t) 両側	0.000	
t境界値 両側	1.971	

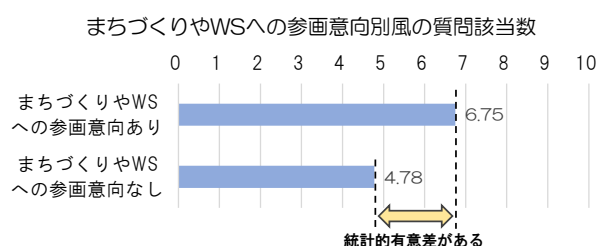


図32. まちづくりやWSへの参画意向の有無別風の質問該当数の平均値

表33. 風の質問該当数の違いによるまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合の差の検定結果

	風の質問Zスコア 0.5以上	風の質問Zスコア 0.5未満
平均	0.623	0.370
分散	0.239	0.235
観測数	61	154
仮説平均との差異	0	
自由度	109	
t	3.428	
P(T<=t) 片側	0.000	
t境界値 片側	1.659	
P(T<=t) 両側	0.001	
t境界値 両側	1.982	

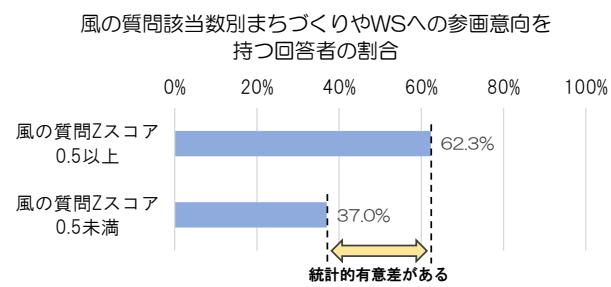


図 33. 風の質問該当数の多寡（2 区分）別まちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合

3 - 3. まちづくりやWSへの参画意向と地域しあわせ風土指標「土の質問」の該当数の関係

土の質問の該当数が多いほど、富良野市は多様な幸せを感じられる地域だと評価していると推察される。それに伴い、まちづくりやWSへの参画意向の強さも異なると予想される。そこで、まちづくりやWSへの参画意向の有無によって土の質問の該当数の平均値に統計的有意差があるのかを確認するべくt検定を行った。その結果、両者の土の質問の該当数には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表34、図34）。

次に、土の質問の該当数の多寡によってまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、回答者を土の質問の該当数のZスコアを基に、「土の質問の該当数のZスコアが0.5以上」のグループと「土の質問の該当数のZスコアが0.5未満」のグループに分けた上で、両者のまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合についてt検定を行った。その結果、両者のまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合には、5%未満水準で有意な差があると判断された（表35、図35）。これらの結果から、まちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者は土の質問の該当数が有意に多く、土の質問の該当数が多い回答者はまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合が有意に高い傾向にあると分かる。

表34. まちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者と持たない回答者の土の質問該当数の差の検定結果

	まちづくりやWSへの参画意向あり	まちづくりやWSへの参画意向なし
平均	0.258	-0.204
分散	1.104	0.839
観測数	95	120
仮説平均との差異	0	
自由度	188	
t	3.387	
P(T<=t) 片側	0.000	
t境界値 片側	1.653	
P(T<=t) 両側	0.001	
t境界値 両側	1.973	

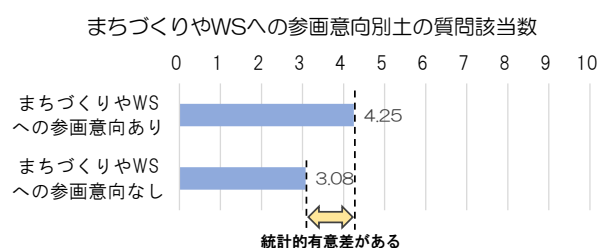


図34. まちづくりやWSへの参画意向の有無別土の質問該当数の平均値

表35. 土の質問該当数の違いによるまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合の差の検定結果

	土の質問Zスコア 0.5以上	土の質問Zスコア 0.5未満
平均	0.541	0.390
分散	0.252	0.240
観測数	74	141
仮説平均との差異	0	
自由度	145	
t	2.107	
P(T<=t) 片側	0.018	
t境界値 片側	1.655	
P(T<=t) 両側	0.037	
t境界値 両側	1.976	

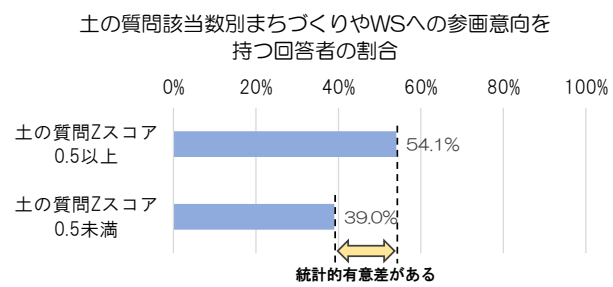


図 35. 土の質問該当数の多寡（2 区分）別地まちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合

3 - 4. まちづくりやWS への参画意向と幸せに繋がっている要素数の関係

富良野市での生活において「幸せを感じる時」及び「幸せを感じる時」が多いほど、幸せを感じる機会は多いと推察される。それに伴い、まちづくりやWS への参画意向の強さも異なると予想される。そこで、まちづくりやWS への参画意向の有無によって「幸せを感じる時」及び「幸せを感じる時」の該当数の平均値に統計的有意差があるのかを確認するべくt検定を行った。その結果、両者の幸せの要素数には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表 36, 図 36）。

次に、幸せに繋がっている要素数の多寡によってまちづくりやWS への参画意向を持つ回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、回答者を幸せの要素数のZスコアを基に、「幸せの要素数のZスコアが0.5 以上」のグループと「幸せの要素数のZスコアが0.5 未満」のグループに分けた上で、両者のまちづくりやWS への参画意向を持つ回答者の割合についてt検定を行った。その結果、両者のまちづくりやWS への参画意向を持つ回答者の割合には、1%未満水準で有意な差があると判断された（表 37,

表 36. まちづくりやWS への参画意向を持つ回答者と持たない回答者の幸せの要素数の差の検定結果

	まちづくりやWS への参画意向あり	まちづくりやWS への参画意向なし
平均	0.255	-0.202
分散	0.879	1.019
観測数	95	120
仮説平均との差異	0	
自由度	208	
t	3.430	
P(T<=t) 片側	0.000	
t 境界値 片側	1.652	
P(T<=t) 両側	0.001	
t 境界値 両側	1.971	

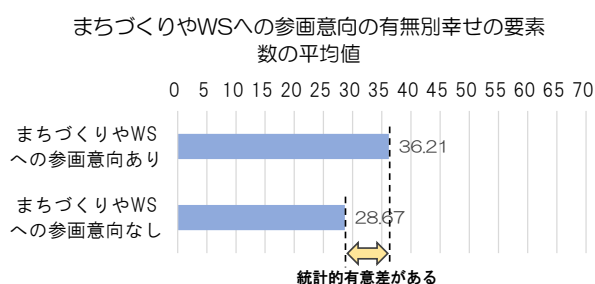


図 36. まちづくりやWS への参画意向の有無別幸せの要素数の平均値

表 37. 幸せの要素数の違いによるまちづくりやWS への参画意向を持つ回答者の割合の差の検定結果

	幸せの要素数 Zスコア0.5以上	幸せの要素数 Zスコア0.5未満
平均	0.608	0.346
分散	0.241	0.228
観測数	79	136
仮説平均との差異	0	
自由度	159	
t	3.809	
P(T<=t) 片側	0.000	
t 境界値 片側	1.654	
P(T<=t) 両側	0.000	
t 境界値 両側	1.975	

図 37)。これらの結果から、まちづくりや WS への参画意向を持つ回答者は幸せの要素数が有意に多く、幸せの素数が多い回答者はまちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合が有意に高い傾向にあると分かる。

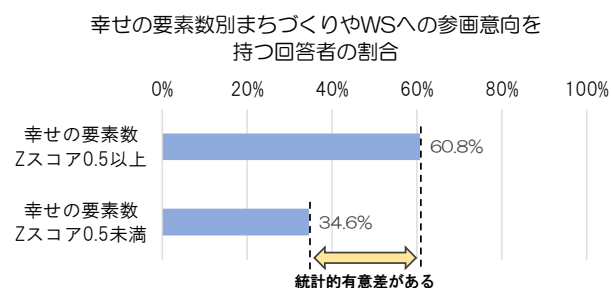


図 37. 幸せの要素数の多寡（2 区分）別まちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合

3 - 5. まちづくりやWSへの参画意向の有無と10年前との「幸せを感じる」ときの多さの違いの関係

富良野市での生活において「幸せを感じる」ときについて、10年前より該当する「とき」が多いほど、幸せを感じる感度が鋭くなっていると推察される。それに伴い、まちづくりやWSへの参画意向の強さも異なると予想される。そこで、まちづくりやWSへの参画意向の有無によって10年前より「幸せを感じる」ときが多くなった回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべくt検定を行った。その結果、両者の10年前より「幸せを感じる」ときが多くなった回答者の割合には、5%未満水準で有意な差があると判断された（表38, 図38）。

次に、10年前より「幸せを感じる」ときが多いか否かによってまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、10年前より「幸せを感じる」ときが多い回答者と多くない回答者のまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合についてt検定を行った。その結果、両者のまちづくりやWSへ

表38. まちづくりやWSへの参画意向の有無による幸せを感じる時が多くなった回答者の割合の差の検定結果

	まちづくりやWSへの参画意向あり	まちづくりやWSへの参画意向なし
平均	0.495	0.333
分散	0.253	0.224
観測数	95	120
仮説平均との差異	0	
自由度	196	
t	2.399	
P(T<=t) 片側	0.009	
t境界値 片側	1.653	
P(T<=t) 両側	0.017	
t境界値 両側	1.972	

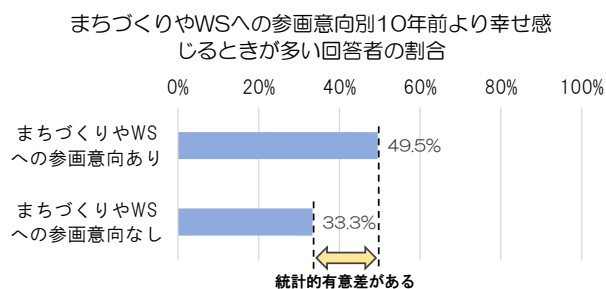


図38. まちづくりやWSへの参画意向の有無別幸せを感じる時が多くなった回答者の割合

表39. 幸せを感じる時の増加の有無によるまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合の差の検定結果

	10年前より幸せを感じる時が多い	10年前より幸せを感じる時が多くない
平均	0.540	0.375
分散	0.251	0.236
観測数	87	128
仮説平均との差異	0	
自由度	181	
t	2.402	
P(T<=t) 片側	0.009	
t境界値 片側	1.653	
P(T<=t) 両側	0.017	
t境界値 両側	1.973	

の参画意向を持つ回答者の割合には、5%未満水準で有意な差があると判断された（表 39, 図 39）。これらの結果から、まちづくりや WS への参画意向を持つ回答者は 10 年前より「幸せを感じる時」が多く、10 年前より「幸せを感じる時」が多いとまちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合が有意に高い傾向にあると分かる。

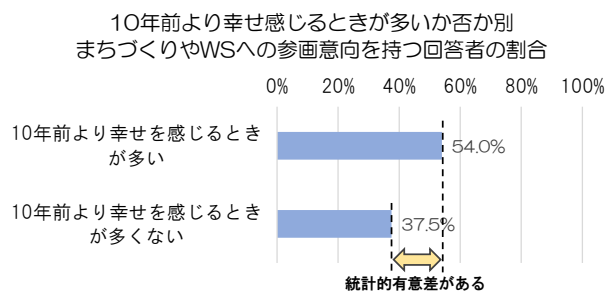


図 39. 幸せを感じる時の増加の有無別まちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合

3 - 6. まちづくりやWSへの参画意向と10年前との「幸せを感じること」の多さの違いの関係

富良野市での生活において「幸せを感じること」について、10年前より該当する「こと」が多いほど、幸せを感じる感度が鋭くなっていると推察される。それに伴い、まちづくりやWSへの参画意向の強さも異なると予想される。そこで、まちづくりやWSへの参画意向の有無によって10年前より「幸せを感じること」が多くなった回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべくt検定を行った。その結果、両者の10年前より「幸せを感じること」が多くなった回答者の割合には、統計的に有意な差はないと判断された（表40, 図40）。

次に、10年前より「幸せを感じること」が多いか否かによってまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合に統計的有意差があるのかを確認するべく、10年前より「幸せを感じること」が多い回答者と多くない回答者のまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合についてt検定を行った。その結果、両者のまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合には、統計的に有意な差はないと判断された（表41, 図

表40. まちづくりやWSへの参画意向による幸せを感じるが多くなった回答者の割合の差の検定結果

	まちづくりやWSへの参画意向あり	まちづくりやWSへの参画意向なし
平均	0.526	0.433
分散	0.252	0.248
観測数	95	120
仮説平均との差異	0	
自由度	201	
t	1.354	
P(T<=t) 片側	0.089	
t 境界値 片側	1.652	
P(T<=t) 両側	0.177	
t 境界値 両側	1.972	

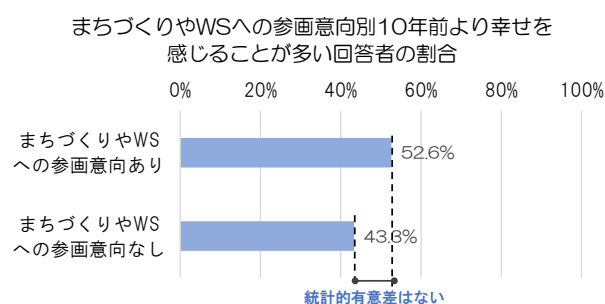


図40. まちづくりやWSへの参画意向別幸せを感じるが多くなった回答者の割合

表41. 幸せを感じることの増加の有無によるまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合の差の検定結果

	10年前より幸せを感じるが多い	10年前より幸せを感じるが多くない
平均	0.490	0.398
分散	0.252	0.242
観測数	102	113
仮説平均との差異	0	
自由度	210	
t	1.354	
P(T<=t) 片側	0.089	
t 境界値 片側	1.652	
P(T<=t) 両側	0.177	
t 境界値 両側	1.971	

41)。これらの結果から、まちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合と10年前より「幸せを感じる」が多いか否かは関連性がないと分かる。

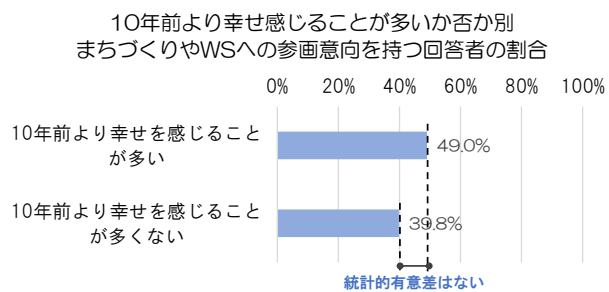


図 41. 幸せを感じることの増加の有無別まちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合

3 - 7. 各幸せの要素及び地域しあわせ風土指標への賛同・該当の有無とまちづくりやWSへの参画意向の関係

前節までの分析結果から、「10年前より「幸せを感じる」と多い」を除く幸せの量的評価の結果は、まちづくりやWSへの参画意向と関連性があり、主観的幸福度が高いほど、また、風の質問の該当数や土の質問該当数、幸せの要素数が多いほどまちづくりやWSへの参画意向を持つ傾向にあると分かった（図42）。

本節では、その傾向に加えて、具体的にどのような「幸せの要素」及び「地域しあわせ風土指標」に賛同・該当しているとまちづくりやWSへの参画意向が強い傾向にあるのかを把握するべく、「幸せの要素」及び「地域しあわせ風土指標」における質問項目ごとに、項目への賛同・該当の有無によるまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合についてt検定を行った（表42）。その結果、「T02.仕事に没頭しているとき」「T04.何かをやり遂げたとき」「T05.自分自身の成長を感じたとき」「T08.仲間と一緒に何かに取り組んでいるとき」「T09.仲間と何をすることもなくただのんびり過ごしているとき」「T13.子や孫の成長を感じられたとき」「T16.外の友人から「ふらのに行きたい」と言われたとき」「T19.新たな習慣・行動を始めてみようと思ったとき」「T20.できないと思っていたことができたとき」「T22.自分が自立できていると感じられたとき」の10項目の幸せを感じる時、「F05.やりたいと思ったことをやるときと一緒にやれる仲間がいる」「F10.自分の周りに、心にゆとりをもった人がいる」「F11.地域のひとたちとのつながりが強い」「F23.ふらのの人たちは気質がいいと感じている」「F25.富良野市の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う」「F28.いろいろな世代の人と出会ったり、交流できる機会が多い」「F29.やりたいことに挑戦したり、成長する機会が多いまちだと感じる」「F30.地域の文化や風習が脈々と継承されているのを感じる」「F31.自分は一体感のある地域に住んでいると思う」「F32.自分は自分の地域に愛着を持っている」「F33.富良野市は文化芸術に触れる機会が多いまちだと思う」「F34.ふらののまちは歩いていてきもちいいと感じる」「F35.運動で気持ちのいい汗を流せる」の13項目の幸

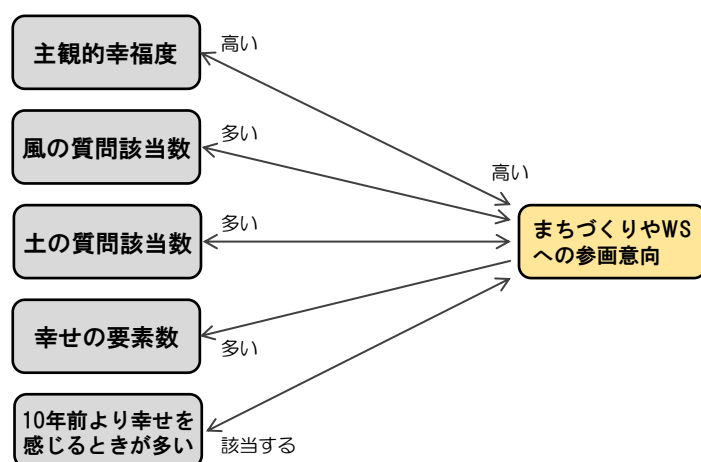


図42. 幸せの量的評価の結果と別まちづくりやWSへの参画意向の関係

表 4.2. 具体的な幸せの要素及び地域しあわせ風土指標の賛同・該当の有無によるまちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合の差の検定

	具体的な項目	まちづくりやWSへの参画意向を持つ回答者の割合		p値
		該当する回答者	該当しない回答者	
幸せを感じるとき	T01 おいしいものを飲み食いしているとき	44.5%	33.3%	0.622
	T02 仕事に没頭しているとき	49.7%	27.8%	0.003
	T03 趣味に没頭しているとき	45.7%	27.8%	0.132
	T04 何かをやり遂げたとき	47.5%	5.9%	0.000
	T05 自分自身の成長を感じたとき	47.3%	22.2%	0.008
	T06 新たな刺激をもらったとき	46.2%	33.3%	0.167
	T07 一人で何をしてもなくのんびり過ごしているとき	44.7%	38.9%	0.645
	T08 仲間と一緒に何かに取り組んでいるとき	47.3%	22.2%	0.008
	T09 仲間と何をしてもなくただのんびり過ごしているとき	47.1%	31.7%	0.067
	T10 人に感謝されたり、喜んでもらえたりしたとき	45.0%	33.3%	0.386
	T11 家族や恋人と一緒に何かをしているとき	45.3%	25.0%	0.157
	T12 家族や恋人と何をしてもなくただのんびり過ごしているとき	45.2%	33.3%	0.334
	T13 子や孫の成長を感じられたとき	47.3%	22.2%	0.008
	T14 ペットといるとき	47.1%	40.4%	0.329
	T15 自然の美しさや心地よさに触れたとき	44.3%	41.7%	0.864
	T16 外の友人から「ふらのに行きたい」と言われたとき	48.5%	29.2%	0.014
	T17 いつもの日常	44.7%	37.5%	0.585
	T18 とっておきの場所を見つけたとき	45.2%	37.9%	0.469
	T19 新たな習慣・行動を始めてみようと思ったとき	50.0%	22.2%	0.000
	T20 できないと思っていたことができたとき	46.3%	29.6%	0.094
	T21 ゆっくり休めたとき	44.6%	38.5%	0.680
幸せを感じること	T22 自分が自立できていると感じられたとき	48.1%	17.9%	0.001
	F01 暮らしていくうえで困らない程度には金銭的余裕がある	43.4%	52.6%	0.459
	F02 暮らしていくうえで親族・仲間からの助けが得られている	42.4%	49.1%	0.389
	F03 やりたいと思ったことをやるときにそれができる金銭的余裕がある	43.4%	47.6%	0.624
	F04 やりたいと思ったことをやるときにそれができる時間的余裕がある	45.4%	40.4%	0.528
	F05 やりたいと思ったことをやるときに一緒にやれる仲間がいる	50.7%	33.3%	0.012
	F06 親族や仲間との助け合いを続けるだけの金銭的余裕がある	43.8%	45.1%	0.856
	F07 親族や仲間との助け合いを続けるだけの時間的余裕がある	47.2%	38.4%	0.216
	F08 自分のことを理解してくれる人がある	46.6%	34.1%	0.145
	F09 自分の心にゆとりがある	44.9%	40.5%	0.627
	F10 自分の周りに、心にゆとりをもった人がある	50.0%	33.3%	0.017
	F11 地域のひとたちとのつながりが強い	54.3%	34.5%	0.003
	F12 観光客や移住者など、外の地域から人が来ていると感じる	52.2%	42.0%	0.228
	F13 おいしい食べ物が手に入る	41.6%	50.8%	0.225
	F14 地域の子供の元気な声を耳にする	47.7%	38.8%	0.200
	F15 家族が健康である	44.5%	40.0%	0.744
	F16 自分が健康である	44.7%	33.3%	0.523
	F17 家族や恋人がいる	44.4%	42.3%	0.840
	F18 お気に入りの飲食店がある	48.3%	38.9%	0.169
	F19 ふらはは自分にとって、ほどよい規模のまちだと感じている	47.3%	39.3%	0.247
	F20 ふらはは暮らしていくのに不便のないまちでだと感じている	43.8%	44.7%	0.902
	F21 ふらはは外の地域の人から評価されていると感じている	46.6%	43.0%	0.616
	F22 ふらはは自慢できるまちであると感じている	46.2%	42.6%	0.600
	F23 ふらのの人たちは気質がいいと感じている	50.5%	38.0%	0.065
	F24 自宅は快適で過ごしやすく、満足している	44.1%	44.4%	0.977
	F25 富良野市の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う	49.4%	31.1%	0.013
	F26 富良野市の自治体窓口は、親切で好感が持てる	47.1%	39.2%	0.266
	F27 富良野市の人たちはゴミ出しのマナーがいいと感じている	46.9%	38.2%	0.231
	F28 いろいろな世代の人と出会うたり、交流できる機会が多い	57.7%	31.5%	0.000
	F29 やりたいことに挑戦したり、成長する機会が多いまちだと感じる	58.1%	30.9%	0.000
	F30 地域の文化や風習が脈々と継承されているのを感じる	62.3%	34.1%	0.000
	F31 自分は一体感のある地域に住んでいると思う	59.8%	32.5%	0.000
	F32 自分は自分の地域に愛着を持っている	52.6%	30.0%	0.001
	F33 富良野市は文化芸術に触れる機会が多いまちだと思う	56.8%	34.2%	0.001
	F34 ふらののまちは歩いていても楽しいと感じる	50.7%	32.9%	0.010
	F35 運動で気持ちのいい汗を流せる	55.6%	30.6%	0.000
風の質問	風01 得意としていることがある	60.5%	24.0%	0.000
	風02 人を喜ばせるのが好きだ	51.0%	28.1%	0.001
	風03 いま抱えている問題は大体何とかなると思う	51.8%	36.2%	0.021
	風04 自分と他人をあまり比べない方だ	50.0%	38.3%	0.085
	風05 現在の暮らしや、自分の将来への不安は少ない方だ	52.5%	39.3%	0.061
	風06 何か目的・目標を持ってやっていることがある	57.1%	31.8%	0.000
	風07 いろいろなことに感謝する方だ	53.7%	13.7%	0.000
	風08 失敗や嫌なことにに対し、あまりよくよくよしないほうだ	51.0%	38.7%	0.070
	風09 他人の目を気にせずに、自分がやるべきだと思うことはやる	53.0%	30.1%	0.001
土の質問	土01 自分は好きなこと、得意なこと、熱中している人が多い地域	48.3%	34.8%	0.063
	土02 目標を持って頑張る人を応援する地域	60.6%	36.9%	0.001
	土03 助け合いや感謝の気持ちを大切にする地域	60.3%	38.2%	0.004
	土04 人間関係が豊かで、あいさつや笑顔があふれる地域	51.0%	38.1%	0.057
	土05 挑戦することを応援し、失敗を許容する地域	49.0%	39.8%	0.177
	土06 楽観的、前向きな地域	61.4%	39.8%	0.012
	土07 他人と違うこと、個性を大切にする地域	54.0%	41.2%	0.118
	土08 よそ者、若者、マイノリティなど多様な人を受け入れる地域	55.3%	41.8%	0.140
	土08 よそ者、若者、マイノリティなど多様な人を受け入れる地域	54.5%	37.0%	0.011
	土09 食べ物や住まいには困らない地域	48.0%	38.6%	0.172
	土10 身の危険を感じず、安全に暮らせる地域	47.3%	37.3%	0.170

せを感じる事、風の質問の全項目及び「土 01.自分の好きなこと、得意なことに熱中している人が多い地域」「土 02.目標を持って頑張る人を応援する地域」「土 03.助け合いや感謝の気持ちを大切にする地域」「土 05.挑戦することを応援し、失敗を許容する地域」「土 08.よそ者、若者、マイノリティなど多様な人を受け入れる地域」の 5 項目の土の質問の賛同・該当の有無によって、まちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合には統計的に有意な差があると判断された。全ての項目で、賛同・該当しているグループの方がまちづくりや WS への参画意向を持つ回答者の割合が高いことから、この 38 項目に賛同・該当しているとまちづくりや WS への参画意向を持つ傾向にあると分かる。